

長柄小学校・南郷中学校避難所リーフレット

R7 作成 南郷中学区避難所運営委員会

重要な判断

1. 率先避難者になる
まわりに流されず、自分の判断で避難しましょう
2. 避難をしない
津波が来ない場合
地域に残って、
倒壊家屋等から、
救助作業が重要です



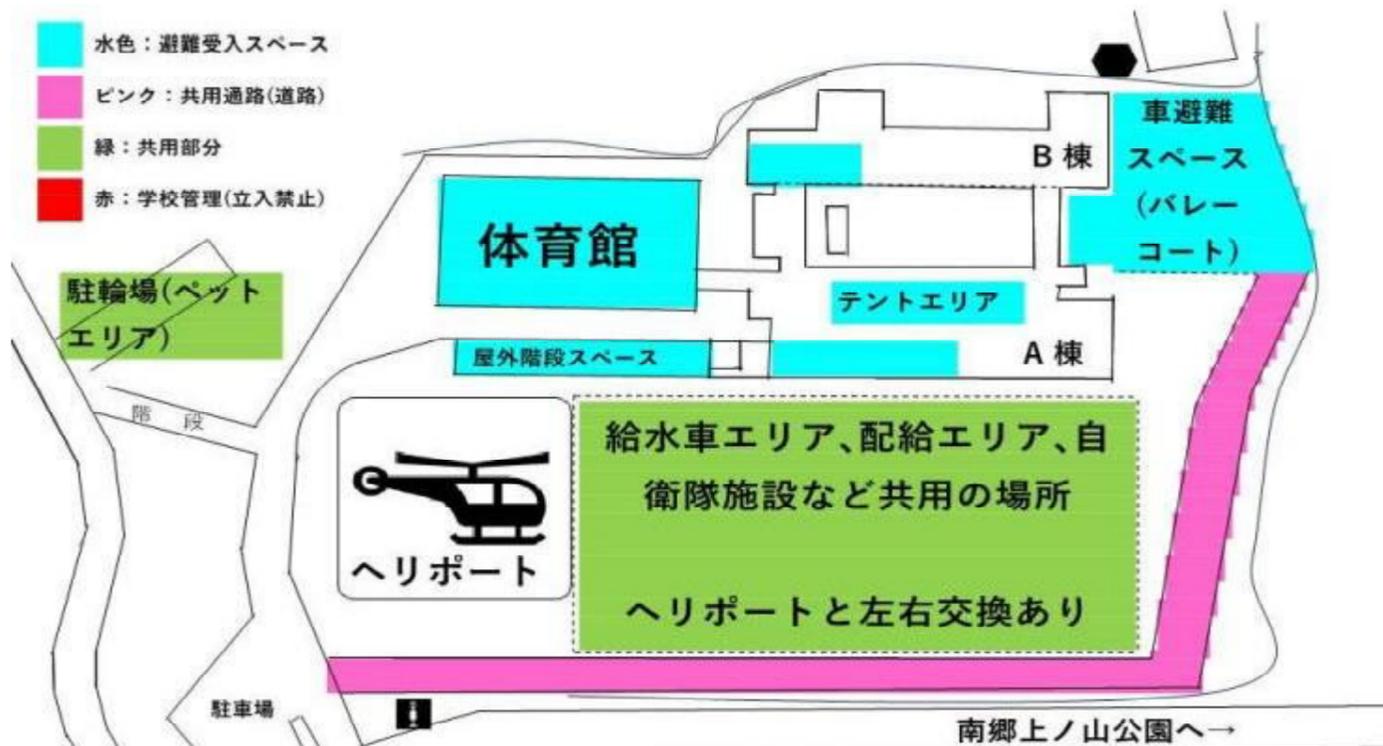
自宅被害は大丈夫ですか？
強い地震が続く場合、大丈夫
そうに見えた家でも、倒壊の
危険性が高まります。一方、
地域の皆さんが避難所に避難
されると、避難所は一杯に
なってしまいます。
難しい選択ではありますが、
自宅に残っても大丈夫なら、
地域での救援作業や復旧作業に
力を貸して頂ければ幸いです。
倒壊の危険性があれば避難を!!



★自宅が無事な方は、避難所への避難は不要です。避難住民と同様に配給を受けることができます。

(1) 南郷中学校避難所のレイアウト計画

★図の水色、および黄色のエリアが地域に開放されます。赤い場所は立入禁止区域になります。



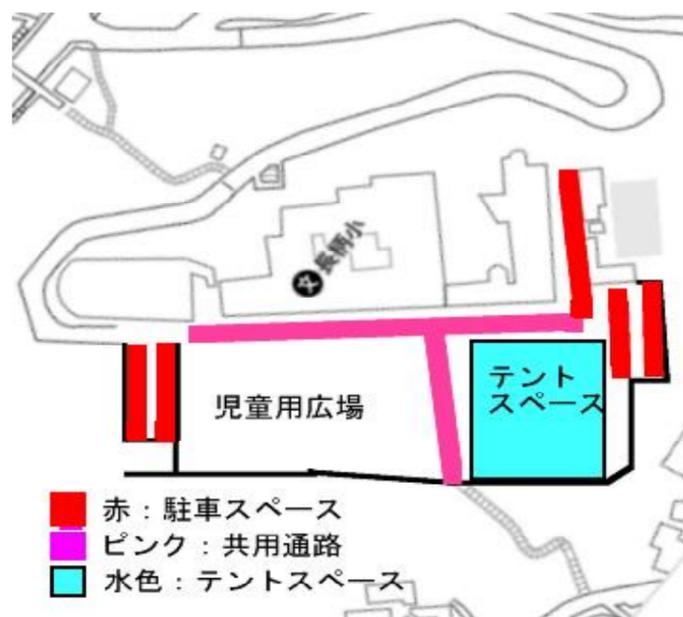
南郷中学校は、比較的駐車場スペースがあるため、自家用車等での避難家族を受け入れやすい。大震災発災時には、校庭に自動車の避難を受け入れる計画もある。

大雨災害においては、累積雨量の少ない時点での避難に適した避難所である。大雨が継続すると、道路で土石流等が発生する可能性がある。



(2) 長柄小学校避難所のレイアウト計画

★図の青色、および黄色のエリアが地域に開放されます。赤い場所は立入禁止区域になります。



長柄小学校は、駐車場が課題で、自家用車での避難はあまり推奨できない。地域が停電した場合、水を揚水することが出来ないため、トイレの排水のためには、プールからバケツリレーで水を運ぶ必要がある。大雨災害においては、累積雨量の少ない時点での避難に適した避難所である。

★長柄地区にはあと一つ逗子葉山高等学校がある。葉桜・イトーピア地区の住民は、南郷中や長柄小に避難するよりも、安全に逗子葉山高等学校に避難してることが出来る。逗子市の避難者も集まってくる

【避難所利用上心がけておきたいこと】



- (1) 避難所に向かい自宅を離れる際には、電気ブレーカーを落としてからの避難を心がけましょう
- (2) 避難所はサービスを提供してくれる場所ではありません。お互い苦しい状況を助け合い、支え合って運営していくところです。避難されてきたあなたの力もお借りして運営していく場所です。
- (3) 水と食料等は、一定量の備蓄はされていますが、避難当初は、各人の持ち込みが基本となります。
- (4) 学校自体は一日も早い応急教育の再開を目指します。教員に頼るのではなく、自主的な運営にご協力ください。
- (5) トイレ問題が一番の課題となりますが、皆さんで乗り越えていきましょう。

ここでは、南郷中 HP および長柄小 HP に掲載している、『長柄小・南郷中避難所計画～災害に備えて～』の要点を紹介しています。

◎避難所運営マニュアルの基本方針



- (1) 避難所は住民の自治による開設・運営
避難所は、住民自治による迅速な取組が重要となることから、避難所は原則として、住民の自主運営になります。
- (2) 避難所は地域の支援拠点
避難所生活をしている人だけでなく、在宅避難をしている人に対しても、等しく物資の供給、情報の共有等を行い、地域に住む全ての人にとっての生活再建の拠点としての場所となるように取り組みます。
- (3) 要配慮者に配慮した避難所づくり
要配慮者優先の意識を共有し、避難所内のレイアウトやトイレの使用を考え、避難所運営を行います。
- (4) 男女共同参画の視点に配慮した避難所
運営委員会に女性も参加することなど、男女共同参画の視点に配慮した避難所運営を行います。
- (5) 健康管理の支援
福祉部門の職員、衛生部門の職員などを避難所に派遣して、心身の健康管理を支援していただきます。
- (6) 屋外避難者の支援
屋外避難者に対しても支援をします。

◎避難所の主たるルールや決め事（抜粋）

- 避難所の運営に必要な事項を協議するため、避難者の代表、町担当者、施設管理者等からなる避難所運営委員会（以下「委員会」という。）を組織します。
- 運営組織として、総務、被災者管理、情報広報、施設管理、食料物資、救護、衛生、ボランティアの各活動班を避難者で組織します。
- 避難所は、電気・水道・ガス等のライフラインが復旧する頃を目処に閉鎖します。
- 避難者は、世帯や家族単位で登録する必要があります。
- 犬、猫等のペットを居住スペースに入れることは禁止します。避難者に迷惑がかからないようにしてください。（※校地内にペットエリアを設けます。必ずゲージとともに連れてきてください。）
- 職員室等の施設管理や避難者全員のために必要となる部屋のほか、危険な部屋には避難できません。また、避難所では居住スペースの移動を定期的に行います。
- 食料・物資は、原則として全員に配給できるようになるまでは配給しません。
- 配給は、避難所以外の近隣の在宅避難者にも等しく行います。
- 消灯は、午後●時です。※時間の設定は避難所運営委員会が決定します。
- 放送（および呼び出しによる連絡）は、午後●時で終了とします。
- トイレの清掃は、午前●時、午後●時に、避難者が交替で行うこととします。
- 飲酒・喫煙は、所定の場所以外では禁止します。なお、裸火の使用は厳禁とします。
- ごみは、分別して指定された場所に出してください。
- 各種伝達情報は、避難所の掲示板に貼り出します。
- 屋外の避難者も代表を選出します。屋外の皆さんも上記ルールをお守りください。

災害用伝言ダイヤルサービス



- ①固定電話、または携帯電話で「171」にかける。
- ②案内に従って「2」（伝言再生）を押す
- ③ご自宅の固定電話、あるいは個人の携帯番号を入力する。
- ④以下、音声案内に従って操作をすれば、伝言が再生される。
- ⑤伝言の再生が終わったら電話を切る。（終了）

※伝言保存期間がサービスの提供終了までとなり、何度でも登録ができなくなりました。預かれるメッセージは最大5～20件です。
※上記のやり方で、家族の安否を確認できるようにしましょう。**スマホ等では、「災害用伝言板」のサービスを利用すると大変便利です。**

★各校の避難所の情報を得たい場合は、③の時に、南郷中学校の Fax 用電話番号「046-876-0684」あるいは、長柄小学校の Fax 用電話番号「046-876-0682」を押してみましょう。情報が得られる可能性があります。

率先避難者になるために知っておきたい知識

津波がくる沿岸部の人、地震の後には津波がくることを知っていて、高台に登るなど“とりあえず避難”が常識になっているのでしょうか。東日本大震災当時、地震の後、津波が到達するまでは約1時間の時間的ゆとりがあった、〇〇市〇〇地区では、
①人々は逃げることをせず普段どおり近所と世間話をし、【正常性バイアス】
②いざ避難となれば、避難することを固辞した人を説得するのに貴重な時間を喰い、自分の命を落とし、【愛他行動】
①避難所の校庭で、みんながいるから大丈夫なのだろうと安心してしまい、みんなと同じ行動をとりました。【同調性バイアス】

その結果、時間的余裕は逃げる行動にはつながらなかったのです。その地域人口の1割にあたる600名を超す人が亡くなりました。私たちは、ここから何かを学ぶ必要があります。災害などに人間が出会ったとき、人がどんな行動をとる習性があるのか、よく知っておいてください。

ペットとともに同行避難を希望される方々へ

ペットの『同行避難』とは？

同行避難とは、災害発生時に飼い主が飼育しているペットを同行し、避難所まで安全に避難することです。避難所において人とペットが同一の空間で居住できることを意味するものではありません。両学校にはペットエリアを設けますので、そこに置いてください。



(同行ペット用のケージを各ご家庭でご用意ください。ペット用の備蓄はありません。)

また、どのような状況下においても必ず同行して避難しなければいけないというものではありません。自宅が安全であり、定期的にペットの世話をするために戻れる状況にあるのであれば、長柄小学校（あるいは南郷中学校）に連れて来ないということも選択肢の一つです。ただし、その場合も、毎日の食事と健康状態の確認が大切です。

犬、猫、小鳥、小型のげっ歯類等の一般的なペット以外の動物は、両学校とも受け入れを予定しておりません。万一のときの預かり先を確保しておくことも大切です。